

滋賀の開催理念は…

私たちは、ふるさと滋賀の地域特性である「森—川—里—湖」のつながりと、いにしえより培われてきた「森林」、「びわ湖」、「人（暮らし）」のかかわりを再確認し、将来を見据えながら森林を守り、活かし、これらの取組を支えることで、美しく輝くびわ湖と健全で緑豊かな森林を、次の世代、その次の世代へと持続的につないでいきます。



大会テーマ、シンボルマーク、大会ポスター原画を御紹介！

大会テーマ

応募作品約1700点から選ばれた最優秀賞作品

「木を植えよう びわ湖も緑のしずくから」

作者：保岡 直樹さん（東京都世田谷区）

コメント 山の木の葉のひとしずくが集まって川となり、清き流れは大地をうるおし、豊かな琵琶湖を育む。そんな大自然の循環を「緑のしずく」に例えています。

本誌のタイトルはここから採用しています。

シンボルマーク

応募作品約400点から選ばれた最優秀賞作品

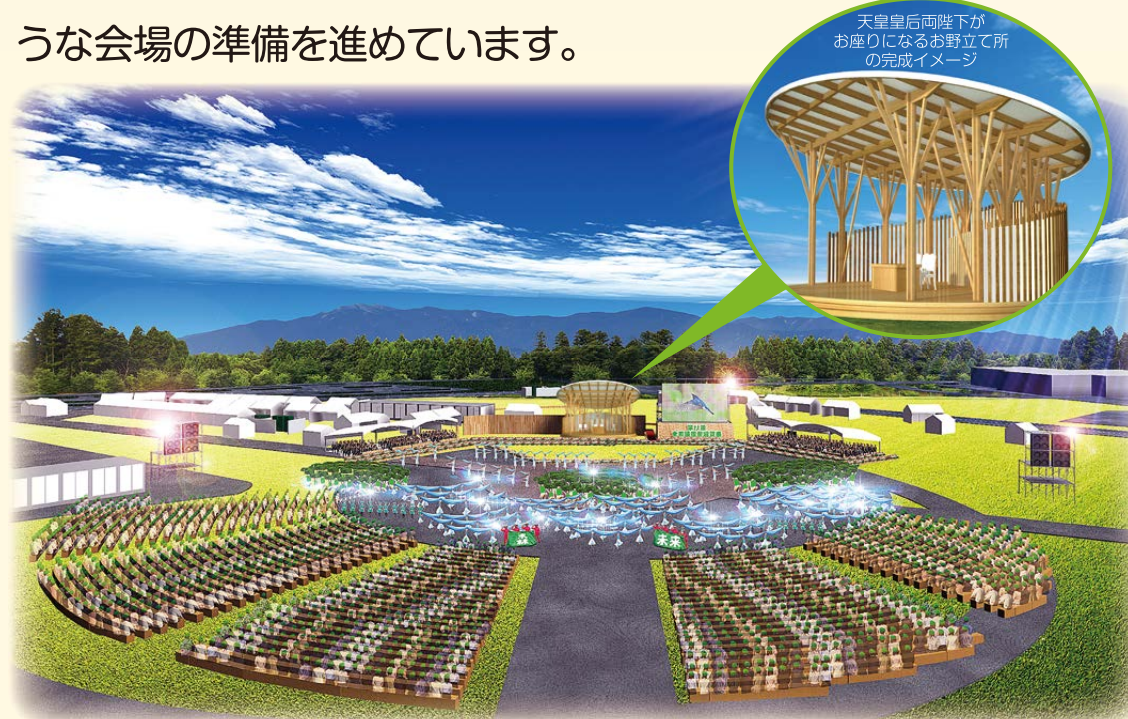
作者：松岡 英男さん（山形県山形市）

コメント 豊かな緑に包まれて、琵琶湖（県）との一体感、若葉がすくすくと伸びる植樹の喜びと期待感を県民の喜び顔に象徴して次世代と次の世代へと喜びの輪（和）をひろげ繋いでまいります。



式典会場は、 甲賀市・鹿深夢の森。

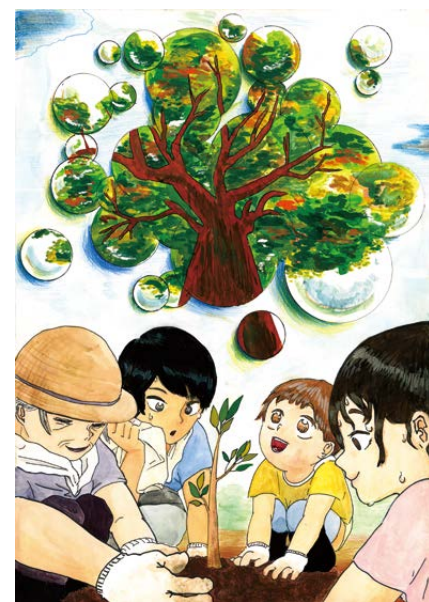
式典会場は、甲賀市「鹿深夢の森」です。また、式典会場以外にも県内数箇所で、皆様に植樹祭の理念を感じていただけるような会場の準備を進めています。



天皇皇后両陛下がお座りになるお野立て所の完成イメージ

大会ポスター原画

参加生徒数約840人から選ばれた最優秀賞作品



画題：「未来につなぐ」

作者：中川 甘母さん（滋賀県立栗東高等学校）

コメント これからも、老若男女を問わず、この先の未来に緑をつないでいきたいという願いを込めました。

会場は式典会場以外にも！ 各会場を御紹介！



★ 式典会場：鹿深夢の森

■ サテライト会場：
えきまちテラス長浜
琵琶湖博物館

○ 一般植樹会場：
びわこ地球市民の森
森林公園 つかの森
きゃんせの森

式典会場で両陛下がお手植え・お手播きされる樹種は、滋賀県ゆかりの木々。

お手植え樹種

天皇陛下 3種



トチノキ

県北部にはトチノキの巨木が数多く見られます。トチ餅など、トチノキの実は昔から大切な食材として利用されてきました。

スギ（少花粉）

林業の主要樹種です。本県では花粉の少ない少花粉スギを生産しており、人工林の未来を担うものとして期待されています。

アカガシ

国の重要無形民俗文化財である「大津祭」の曳山の車輪にアカガシの材が使われているなど、本県の文化と深い関わりがあります。

皇后陛下 3種



イロハモミジ

前回大会の皇后陛下のお手植え・お手播き樹種です。「モミジ」は本県の「県の木」として、県民に広く親しまれています。

ヒノキ

前回大会の天皇陛下のお手植え・お手播き樹種です。本県ではスギの次に人工林面積が大きく、スギと同様、林業の主要樹種です。

エドヒガン

春に紅色や淡紅色の美しい花をつける桜の木です。本県の百瀬川流域には自生のエドヒガンが群生しており、巨木も見られます。

お手播き樹種

天皇陛下 2種



クロマツ

本県では琵琶湖岸に多く見られます。近江八景のひとつである「唐崎の夜雨」で描かれているなど、県民になじみの深い樹種です。

コウヤマキ

琵琶湖水運の丸子船に使われた「横材」はコウヤマキを指していると考えられており、琵琶湖と歴史的な関わりのある樹種です。

皇后陛下 2種



ウツクシマツ

アカマツの変種で形が特徴的な樹種です。県内の「平松のウツクシマツ自生地」は国内唯一の自生地であり、国指定の天然記念物です。

ホンシャクナゲ

「シャクナゲ」は本県の「郷土の花」です。県内の「録掛谷ホンシャクナゲ群落」は国指定の天然記念物で、毎年美しい花を咲かせます。